

## 祝 卒業

### 式 辞

今年の冬は去りゆくことが相当名残惜しいようで、今週に入って寒さがぶり返しています。ですが「春遠からじ」着実に春の足音が聞こえてくる本日ここに第五十九回卒業証書授与式が盛大に挙行できますことに厚く御礼申し上げます。

さて、中学校3年間の課程を修了し、本日卒業証書を手にしたみなさん、ご卒業おめでとうございます。3年前、真新しい制服に身を包み、あなたたちは本校に入学しました。穏やかな日はもちろん、雨の日も風の日も暑さにも寒さにも負けず元気に学校に通って、勉学や運動に励み、身体も心も大きく成長しました。特に今年度は、最上級生として責任ある行動をしてくれました。

先ほど一人一人に渡した卒業証書。それはまさしくこの時代、この場所にあなたが間違いなく存在したと証明するものです。だから、そこには名前と生年月日が書かれています。世の中には同性同名の人がいたり、同じ日に誕生した人はいくらかもいるとは思いますが、同時にこの二つを同じにする人は、まずいないでしょう。その意味でまさしく、唯一ただ一つのあなただけの証書です。そして、文面の最後に三月十日と今日の日付が記載されています。楽しかった中学校時代の終わりの日であり毎日毎日支えてくださった家族の方が君たちの後ろ姿を見つめながら、これまでの日々を思い出して万感の思いに浸った日です。

覚えておいてください。

あなたが生まれて、家の方がどれだけ喜んだかを。

覚えておいてください。

あなたが怪我や病気をしたとき、どれだけ心配したかを。

覚えておいてください。

今日の日を迎えられて、家族がどれほど安心したかを。

覚えておいてください。

これからのあなたたちの成長をどれほど家族は楽しみにしているかを。

ゆえに一つ目の伝えたい言葉は「命を大切に。」です。

たくさんの思い出ができましたね。私は忘れません。修学旅行中、東京というフィールドで見せた生き生きとした表情。部活動や体育祭で見せた真剣な表情。文化祭や合唱コンクールですべてやり終えた後の達成感に満ちた表情。二学期最終日の下校の際に「よいお年を！」と言いながら足早に下校していくあなたたちの後ろ姿。そして、本日の式典に臨む「凜」とした姿勢。今後もたくさんの経験を積んで見識を広げ、新たな力を獲得して行ってほしいと願っています。

「経験は人を成長させる。」これが2つ目に伝えたい言葉です。

4月からはそれぞれの進路先に進学します。時には周囲との違いに戸惑うこともあるし悲しいこと不安なこと、壁にぶつかることもあるでしょう。「青年期」等と呼ばれるこれからの3年間でぜひ『これこそが自分だ』と言える

「自然体の自分」を作り上げてほしい。これが3つ目に伝えたい言葉です。

始業式や壮行会等いろいろな場面で「失敗してもいいんだよ。」「ただ諦めずに自分の意志を持って続けていけばいいんだよ。」と、機会あるごとにあなたたちに呼びかけてきました。はからずも君たちと年齢的に近い先輩が、オリンピックやWBC等国際舞台でそれを実践し、証明してくれています。だから大丈夫。思いを持って取り組んで行ってください。

保護者の皆様には、お子様が義務教育3年間を無事終えられ、今日のこの日を迎えられましたこと、本当におめでとうございます。

大きな愛情を持って育てられたお子様が、たくましく成長され、こうして卒業という節目を迎えられたその感慨は筆舌に尽くせないものだろうとお察し申し上げます。また、本校の教育活動にいつも温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、名残はつきませんが卒業生のみなさん、これからもこの自然豊かな坂井の地を起点に誇りを持ち、力づよく羽ばたいて行ってください。みなさんのご健康とご活躍をお祈りして式辞といたします。

令和八年三月十日  
坂井市立坂井中学校長

